

監督◆インタビュー

黒田 剛
KURODA GOプロフィールは
こちらをクリック！**--前節の金沢戦は1失点しましたが、チームは2連勝となりました。**

「金沢戦で良かったことは失点こそしましたが、ポジティブな失点をできたということです。失点シーンには我々のベースとはかけ離れたものが、3つも4つも含まれていました。その点で言えば、危機感を共有する意味ではとても良い失点でした。2-1で勝ったゲームでしたが、その1失点を10失点ぐらいの危機感として捉えないと、我々がやろうとしているゲームプランやゲームコンセプトというものが逸脱していく形になります。細かいことかもしれませんが、やるべきことをやらなかったからこそ、起こった失点でした。多くの選手がいたのに、フリーな選手を作り出してしまったことや、対応を怠ったことは、昨季までの悪い習慣がそのまま露呈された形です。ギリギリまでとにかく相手にやらせないことをミーティングでも落とし込んできましたし、そのあたりのことを選手たちも理解しながら、練習に取り組んでくれたと思っています」

--水戸の印象は？

「ここまで水戸さんの結果は3分けですが、勝ちきれないにしても、負けないというポテンシャルがあるということ。また志向するサッカーが大きい結果には繋がっていないですが、悪い結果には出ていないということは、しっかりと警戒し、評価すべきことです。青森山田高の教え子である武田英寿のキックも警戒すべきことですし、彼自身近年にはないほど、イキイキとプレーしていることも印象深いです。また特別指定選手である仙台大の得能草生も武田と同級生で教え子です。得能がPKを取って、武田が決めるという青森山田の必勝パターンがありましたが(笑)、得能のドリブルも厄介です」

--そうした教え子との対戦も、プロ監督としての醍醐味ですね。

「荒木駿太の同期でもあるFWの安藤瑞季も高校選抜の選手でしたし、そういう教え子が相手にいることにやりにくさがあります。ただ同じピッチで対戦できることや、試合が終わったあとに対話ができることは、ここまで30年間、高校サッカーの指導者をやってきた財産でもあるので、とても楽しみです」

--次はホームゲームです。ファン・サポーターの皆様へメッセージをお願いいたします。

「ファン・サポーターの皆様も今季の町田は本当に強いのか。このまま勝ちきれぬチームになれるのか。上位に居続けられるのか。半信半疑で応援している方々もいるでしょうし、「今年の町田は強い」と、応援する側が確信に変わった時に多くの方々が詰め掛けて下さるきっかけにもなると思います。今まで関心がなかった方や足が遠のいている方々に期待を寄せていただけるように、勇気と覚悟を持って結果を出し続けなければ。そんな強い気持ちで水戸戦を戦います。今節も熱い応援をよろしくお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA DIGITAL MATCHDAY PROGRAM

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2023
シーズンシート